

令和 7 年度使用

中学校用教科用図書研究資料（総評）

【音楽（器楽）】

教科用図書北諸県採択地区協議会

発行者	総 評	備考
17 教育出版	<p>(1) 器楽学習の充実のために、管楽器 3 種類、弦楽器 3 種類、打楽器 1 種類が取り扱われ、奏法ごとに配列されている。「深めてみよう」や「音のスケッチ」「発展」などで、器楽と創作、鑑賞を関連付けながら学習できるように示すなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、「話し合おう」というコーナーが設けられ、楽器の特徴について自分の考えをまとめ意見が交流できるようになっており、対話を通して学びが深められるような工夫されている。</p> <p>(3) 個別最適な学びを可能にするために、教材に関連した学習に役立つ動画や音源を二次元コードの読み取りで視聴できるように工夫されていたり、既習事項を振り返ることができるページを示したりといった工夫が見られる。</p> <p>(4) 生徒が主体的に学び、他者と協働しながら、音楽活動の楽しさに気づき、音楽を表現しようとする態度を育むために、リコーダーや和楽器の合奏曲において、身近で親しみやすい様々なジャンルの楽曲を多数収録するなどの工夫が見られる。</p>	<p>P 6, 7 18, 31, 46</p> <p>P30, 55</p> <p>P30, 55</p> <p>P 6, 7</p>
27 教育芸術社	<p>(1) 器楽学習の充実のために、管楽器 3 種類、弦楽器 3 種類、打楽器 2 種類が取り扱われ、西洋楽器、和楽器の順で配列されている。育成を目指す力の「思考力・判断力・表現力」「知識」「技能」と対応する題材や教材を分かりやすく示すなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、「学びのコンパス」というコーナーが設けられ、楽器の合わせ方や重なり方について自分の考えをまとめ、意見の交流を通して対話によって学び深められるように工夫されている。</p> <p>(3) 個別最適な学びを可能にするために、二次元コードの読み取りで学習に役立つ動画や音源を視聴できるようになっており、特に、練習曲の伴奏音源を読み込むことによって個人やグループごとの練習がしやすくなるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 生徒が主体的に学び、他者と協働しながら、音楽活動の楽しさに気づき、音楽を表現しようとする態度を育むために、アンサンブルの楽曲において、二重奏だけでなく、四重奏や同属楽器以外の合奏など様々な演奏形態の工夫が見られる。</p>	<p>P 6 ~ 8</p> <p>P17, 55 81, 85</p> <p>P15</p> <p>P 6, 7</p>